

## ぼくのなまえはトリケ

小一・弘山 紗菜

ぼくのなまえはトリケ。

トリケラトプスのぬいぐるみで、すこしまえのクリスマスにこのおうちにやってきた。

さなちゃんが、きょうりゆうがすきだからってえらんでくれた。そのときぼくは、さなちゃんよりもおおきかったんだ。ぼくがきみどりいろだから「キミド」にするか、トリケラトプスの「トリケ」にするかまよって、トリケというなまえをつけてくれた。

ぼくはいつも、テレビのまえのかぞくのみんながいちばんあつまるところにいる。だいたいそこで、さなちゃんのしたで、べっどになっっているか、さなちゃんのふとんになっとうえにいる。いもうとやおねえちゃんになげられることもある。おしゃべりしたり、しりとりをすることもある。さなちゃんにだっこされてふうせんぽんぽんゲームをするのがいちばんたのしいんだよ。ぼくはへでいんぐがとくい。

さなちゃんのおとうさんは、ぼくをあしおきばにするんだよ。さなちゃんはおとうさんにすぐおこっていた。

「おとうさん！トリケにあしおかないでよ！」  
なんかいいっても、おとうさんはちょうどいいからといってあしをのせる。

そのうちぼくは、ぜんしんのけがうすくなってきた。きみどりの

---

けがぬけて、おかあさんのくろいズボンにびっしりきみどりがついたこともあったね。しろいおなかもなんだかちやいろくなってきた。そしてさなちゃんもぼくのうえにねているからか、おとうさんのあのせいも、ぼくはぺっちゃんこになってしまったんだ。

いつのまにか、ぼくよりもさなちゃんのほうがおおきくなっていた。いもうとも、もうすぐぼくよりおおきくなっちゃうかも。そんなとき、さなちゃんにゆうがくいわいにあたらしいきょうりゆうがやってきた。トリケラトプスとティラノサウルスだ。ふたりともぼくよりもおおきくてふっかふかで、ちやいろくなつてなんかいいい。

もうぼくはさなちゃんのべつどになれないんだとおもった。かなしかったけど、ぺっちゃんこだし、しょうがない。さなちゃんはつよくてかっこいいティラノサウルスにのつて、いもうとはあたらしいトリケラトプスにのつて、たたかいごっこをする。ぼくはテレビのまえでうらむきのまま、たのしそうなかえをきいていた。

もうおもいだしてくれないのかな、おとうさんせんようのあしおきばになっちゃうのかな。

だけど、テレビをみるとき、さなちゃんはいつともかわらずぼくのせなかにのつてきてくれた。おかあさんが

「ちやいろくなつているし、けはぬけるし、あたらしいこもいるし、トリケとはもうおわかれしない？」  
といたら、ないておこつてくれた。

せなかにのせてたたかいごっこはできないけど、おとうさんはあいかわらずあしをのせるけど、さなちゃんのべつどで、いちばんのしんゆうは、このぼくトリケなのだ！

---